



鯉学ニュース

NO.64 2015年4月

◆ 学園長挨拶 ～新入生へのメッセージ～

新入生の皆さん入学おめでとうございます。本年度の入学生は、修業年限2年の本科生が、アグリビジネス科 36名、食品栄養科 36名の計 72名です。また、就農コースの研究科生が2名、社会人の農業研修生が10名で、合計 84名です。在校生 76名、教職員 51名が、共々に皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、本学園は、1945年（昭和20年）に設立され、今年で創立70年目を迎えます。農業および食品栄養に関する知識・技能を中心とした職業教育を行う専門学校です。農業や調理の実習・実験に多くの時間を当て、一人一人の個性を伸ばす少人数教育を特色としています。

また、社会人の基本である挨拶の励行及び身の周りの整理・整頓・清掃・清潔に力を入れています。学内では「おはようございます」「こんにちは」「お疲れ様」と元気に挨拶してください。また、社会活動としてキャンパスの整理・整頓・清掃に取り組んでいただきます。

学園を卒業する際は、全員に専門士の称号が与えられますが、授業への出席や成績が悪いと進級や卒業できない場合がありますので、今年の入学生の皆さんには全員卒業できるように日々緊張感を持って頑張ってもらいたいと思います。

本学園は創立以来、個人の主体性の確立とヒューマン性の涵養、すなわち自分の考えを持つこと、そして他人を思いやれる人間性を養うことを基本に、広い視野、科学的な考え方、実践力、協調・協同の精神を身につけた人材を養成することを教育理念として教育にあたってきています。

学園における学生生活を通して、こうしたことを身につけ、将来は我が国の農業を担う農業経営者として、食生活の改善を支える栄養士として、さらには実践力ある地域のリーダーとして活躍できる人材に育ていただくことを期待します。



新入生を迎える、正門付近の桜並木

◆ Campus ヒック：平成 27 年度入学式挙行

4月2日（木）、平成 27 年度入学式が挙行されました。

今年度はアグリビジネス科 36 名、食品栄養科 36 名、計 72 名の本科生のほか、研究科、社会人研修生も同時に入学しました。

当日は穏やかな天候で、学園内の桜も七分咲きの見ごろを迎えていました。式典には茨城県ほか多くの来賓の方々や保護者の方々にお越しいただき、在校生・職員もあわせて和やかな雰囲気で行われました。

学園長の式辞、来賓からの祝辞の後、在校生を代表して自治委員長が歓迎の辞を述べ、これにこたえて新入生代表の小笹山さん（食品栄養科、千葉県出身）答辞を述べ、入学式は無事に終了しました。

入学式の後、校舎わきの桜を背景にクラスごとの記念撮影を行い、学生食堂で会食をしました。午後からは学科ごとの説明会が行われました。金曜日にオリエンテーションを行い、翌週からはさっそく講義・実習が始まりました。

今年の入学生は第 70 期の節目にあたります。農業・栄養の分野で活躍することを夢見て入学した学生が、新たな歴史を刻みつつ自己実現できることを願います。

（アグリビジネス科 前嶋）



入学式会場



開式を待つ新入生



新入生代表答辞

◆ Campus ヒック：鯉淵学園公式 facebook ページ開設

昨年末に本校公式フェイスブックページを開設しました。

実習風景、学生の活動、季節ごとの学内風景など、鯉淵学園公式ホームページでは伝えきれなかった日々のキャンパスライフの様子を、よりこまやかにお伝えしています。今後は、研究室・サークル紹介など、テーマを持った発信も考えております。

将来的には、全国の卒業生など鯉淵学園に関わりのある方、鯉淵学園に関心をお持ちの方たちなど、多くの方の情報交換の場も提供できればと期待しております。

右の QR コードより移動することができます。（学生募集チーム）



◆ Campus ヒップ : 学生自治会サークル活動紹介

新学期がスタート。鯉淵学園学生自治会サークル（鯉淵学園では“班”と呼んでいます）でも部員達と交流を深めると共に技術向上を目指し活動がスタートしました。

文化部の音楽班では、バンド活動が中心で、おもに文化祭や学生自治会イベント等で発表しています。バンドだけでなくアコースティックギターなどやっている人ややりたい人、またギターやベースをやったことない人も大歓迎とのこと。活動日としては随時放課後の時間を活用し行っています。



ライブ企画中です。



今年はスポーツ大会で優勝だ！

スポーツ班ではバレー班、野球班、テニス班を紹介致します。バレー班は2年食品栄養科阿部さんをキャプテンに特に木曜日の放課後を練習にあて、汗を流しています。野球班、テニス班は、活動が主に屋外ですので、お昼休みや放課後暗くなるまでの時間など、空いた時間を見つけ、練習に励んでいます。スポーツ班は5月29日の東関東スポーツ大会での優勝、入賞に向けて頑張っています。また、その他にもバスケット班や卓球班バドミントン、サッカー班など多数のサークルがあり、主に放課後体育館などを活用して日々、練習に励んでいます。



この魔球打ってみろ。



綿織圭になりたい。

文化部でも、音楽班の他、星を観察する天文班や料理の研究や試作など主とする栄養班、実際に圃場で作物栽培を行う園芸班などあり、交流、教養を深める場として日々活動しています。どの班活動も新入生のサークル勧誘に必死です。

このサークル活動が今後も学生の豊かな人間性の形成に繋がり、将来、自主性や責任感をしっかり持った社会人になってほしいと思います。

(食品栄養科 目黒)

◆ Campus トピックス：水戸市・JA 水戸などとの提携

～新規就農者の確保・育成に係る協定書調印式の実施～

わが国の農業は高齢化・担い手不足の問題を抱えています。戦後約 600 万戸あった農家数は現在 300 万戸を下回る一方、青年就農者の定着数は年間 1 万人となっています。農業においては、他産業並みの所得を確保できないことが定着数の増加に結びつかない原因の一つであるといわれています。この人数を倍増させるために政府は青年就農給付金等の新規就農・経営継承対策を打ち出しました。本学園においても青年就農給付金の受給者は延べ 100 人を超え、卒業後農業法人等に就農することによって青年新規就農者の増加に貢献しています。

このような状況のもとで、新規就農者を確保・育成する目的から、去る 2015 年 1 月 15 日（木）水戸市役所において、本学園、日本農業実践学園、JA 水戸、水戸市の 4 者による「新規就農者の確保・育成に係る協定書」調印式が行われました。本学園においては、長野県の JA 上伊那、北海道の JA 中春別に次いで 3 つ目の締結になりました。

過去に行われた JA 上伊那および JA 中春別との締結は遠距離でありましたが、今回の水戸市および JA 水戸との締結は、地元であることが特徴です。学生が就農するための条件を水戸市および JA 水戸に要望することがしやすくなり、また研修農家が近距離にあるため、短期間の就農体験ができ、実際に就農するかどうかの判断をつけやすくなりました。これから水戸市に就農を希望する学生は水戸市役所、JA 水戸から就農に関する支援を受けて農業経営を開始することが可能になります。

今後、本学園ではさらに就農協定締結 JA および市町村を増やしていく予定です。これによって派遣実習先が増加することにより学生にとって貴重な体験が可能となり、また就農可能な地域が増加することになります。



協定を締結した 4 機関の代表者
近藤学園長、高橋水戸市長、八木岡 JA 水戸組合長、加藤日本農業実践学園学園長（左より）

◇平成 27 年度のオープンキャンパス・学校見学会

平成 28 年度に本校に入学を希望される方対象にしたオープンキャンパスが 4 月 25 日に実施されました。今後のオープンキャンパスは以下の日程、内容を予定しています。

- 5 月 23 日（土）〔トラクタ試乗、よもぎ餅調理※〕
- 6 月 27 日（土）〔ダイコン収穫、大根サラダ調理※〕
- 7 月 27 日（月）〔本校開講日で、通常授業見学〕
- 8 月 19 日（水）〔ナシ収穫、梨デザート調理※〕

※昨年度実績内容

- 学校見学会は、6 月 13 日（土）、7 月 11 日（土）
8 月 8 日（土）、8 月 29 日（土）、9 月 26 日（土）
11 月 1 日（日）、12 月 5 日（土）、2016 年 2 月 20 日（土）
3 月 19 日（土）と、ほぼ毎月実施予定です。

このほかの日も随時学校見学が出来ます（要予約）。

体験・見学イベントで本校についてより詳しく知っていただくとともに、本校の入試・勉強・進路などについて、個別にご相談いただけます。申込予約・実施内容などの詳細は本校ホームページをご覧ください。

（学生募集チーム）

○ 発行所 ○
農林水産省所管／農業団体助成／厚生労働大臣指定
鯉淵学園農業栄養専門学校
〒319-0323 茨城県水戸市鯉淵町 5965
☎ 0120-831-464 FAX 029-259-6965
ウェブサイト：<http://www.koibuchi.ac.jp>
E-mail: kyoumu@mail.koibuchi.ac.jp

（お問い合わせ等は鯉淵学園のウェブサイト
やモバイルサイトからも受け付けています）



○ 編集者 ○
学生募集チーム（広報作業部会）